

建武元年八月一日

〔相馬文書一〕花押北島顯家

伊具曰理宇多行方等郡金原保檢斷事書遣之早武石上總權介胤顯相共守彼狀可致沙汰者國宣如此仍執達如件

建武二年六月三日

相馬孫五郎殿

右近將監清高奉

〔新撰陸奥風土記一〕莊今は其名亡びたり

姫松莊 略云栗原郡一迫を古しへ姫松庄と云へり、尾松莊 又曰同郡二迫古しへ尾松庄と云へり、高松莊 又曰同郡三迫古しへ高松庄と云へり、葛西莊 又曰桃生郡小野古しへ葛西庄といふ、明曆中今の名に改む 諏訪莊 略云本吉郡唐桑村を古しへ諏訪庄といひしと、郷人云り、

〔慶應元年武鑑〕松平陸奥守慶邦大廣間正四位上中將元治元子四月任

六拾二万五千六百石餘 居城奥州宮城郡仙臺 江

戸ヨリ九十一里

代々城主伊達氏領之○節略

〔慶應元年武鑑〕松平肥後守容保溜間正四位下中將文久二戊閏八月任

二拾八万石 御在城奥州會津郡會津 江戸ヨリ六

十五里

城主蘆名氏盛高居天正十八、蒲生飛騨守氏郷同嫡子藤三郎秀行文祿年中上杉中納言景勝慶長五、蒲生飛騨守秀行嫡子松平下野守忠郷寛永四加藤左馬介嘉明同式部少輔明成同二十保科左中將正之、以後代々領之

大廣間從四位中將元治元子四月任

二拾万石 居城奥州岩手郡盛岡 江戸ヨリ百三十九里

南部三郎光行治承四年石橋山因于軍功右大將賴朝卿甲斐國南部郷其後屢依在軍功文治五年賜陸奥國糠部五郡已後代々領之

藩封